

暮らしやすい草薙へ！



JR草薙駅周辺の環境
コミュニケーション

『NEXT草薙』 矢ヶ部幸弘, 三好正克

草薙地域の特徴

1 JR草薙駅周辺の急速な変化

- (1) 静岡銀行草薙本部タワーのリニューアルオープン(28年:北口/約2,000名)
- (2) 27階建再開発ビル「グラスロード草薙」の竣工(28年:南口/136世帯タワーマンション)
- (3) JR草薙駅橋上駅舎・南北自由通路完成
(28年秋)

2 30年4月、常葉大学草薙キャンパスのオープン(駅北:4,000名の学生規模)

⇒ 駅南には、静岡県立大学(約3,000名)

『グラスロード草薙』アンケート調査概要

1. 世帯数: 136戸
2. 実施対象者: 高校生(15歳以上)の住民
3. 回収結果
(1) 人数: 100名 (2) 回収率: 約50%
4. 質問項目
 - (1) 性別
 - (2) 年齢
 - (3) 家族数
 - (4) 世帯の形態
 - (5) 転居前のお住まい
 - (6) 出身地
 - (7) 職業
 - (8) ~ (15) 日常生活に関する質問
 - (16) ご意見・ご要望・ご提案

『NEXT草薙』の取り組むテーマ

【暮らしやすい草薙へ！】

- (1) JR草薙駅周辺環境(たばこ)
- (2) グラソード草薙でのコミュニケーション

住民への提案

(1) 環境問題

マンション内で検討グループを作り、
引き続いて、一緒に取り組む。

(2) コミュニケーションの促進

- ① 試しに、12月の日曜日、気軽な
「おしゃべり会」を開催する。(マンション17F)
- ② 今後、マンション内で「お茶会」グループを作り
定期的を開催する。

コミュニケーション

試行1(12/17)

マンション内(17F:スカイルーム)で、
『おしゃべり会』を実施(日曜日の夜間)

試行2(12/22)

県大イベント『第2回Tea Café』へ参加
「工芸茶とお茶の旨味を愉しもう！」
(茶学総合研究センター主催)

試行3(2018/1/22)

県大イベント『第3回Tea Café』へ参加
「香り豊かなお茶を愉しもう!!」

JR草薙駅周辺の環境問題

1 たばこの煙（受動喫煙）

JR・静鉄草薙駅周辺に勤務・通勤途中の方々が、コンビニや酒店の前で喫煙



『草薙駅周辺街づくり組織研究会』月例会にて、検討事項として取り上げられたが、引き続き、アピールする。

2 騒音（新幹線の通過音等）

グラソード草薙管理組合へ、引き続き依頼（アンケートによる意見・要望・提案も含めて）

3 草薙駅周辺地区都市再生整備計画の中間評価

市民のコメント募集⇒マンション住民へ通知

2020年代へ向けて、 『世界に開く草薙へ！』

少子高齢化の中、人が集まる地域は活性化

『受動喫煙』後進国の日本でも、東京オリンピックを見据え、2018年初め、羽田空港内に「喫煙室」(煙処理付き)が設置



国籍・老若男女を問わず、国内外の人々と
コミュニケーション (多文化共生)

(1) グラソード草薙内⇒周辺地域へ

引き続き、県大や常葉大のイベント等へ、仲間を募り、輪を広げると共に、学生サークル・地域グループ等と協力し合い、周辺地域へも拡大する。

(2) 草薙駅周辺に「Free Wi-Fi」ゾーンの設置を

世界中への“コミュニケーション”インフラ整備
⇒ 国内外からの観光客も受け入れ

(3) 試行案1：案内ボランティア

転入者や旅行者等へ、地域の見どころ・イベント等を案内する。

(4) 試行案2：草薙駅周辺の“カフェ”等でコミュニケーション(ホームビジットの受け入れ)

学生や旅行者等とコミュニケーションを図り、多文化生、視野を拡くし、脳の活性化も⇒ 世代間の交流等の効果